

第3回 旧新豊町小学校跡地整備基本構想検討懇話会

日時:令和7年11月27日(木) 15:00~

場所:金沢市役所第二本庁舎 2階2202会議室

次第

1. 開 会

2. 議 事

(1) 事務局からの資料説明

(2) 意見交換

3. 閉 会

配布資料 資料1 第3回旧新豊町小学校跡地整備基本構想検討懇話会

資料2 旧新豊町小学校跡地整備基本構想(案)

委員名簿

(敬称略)

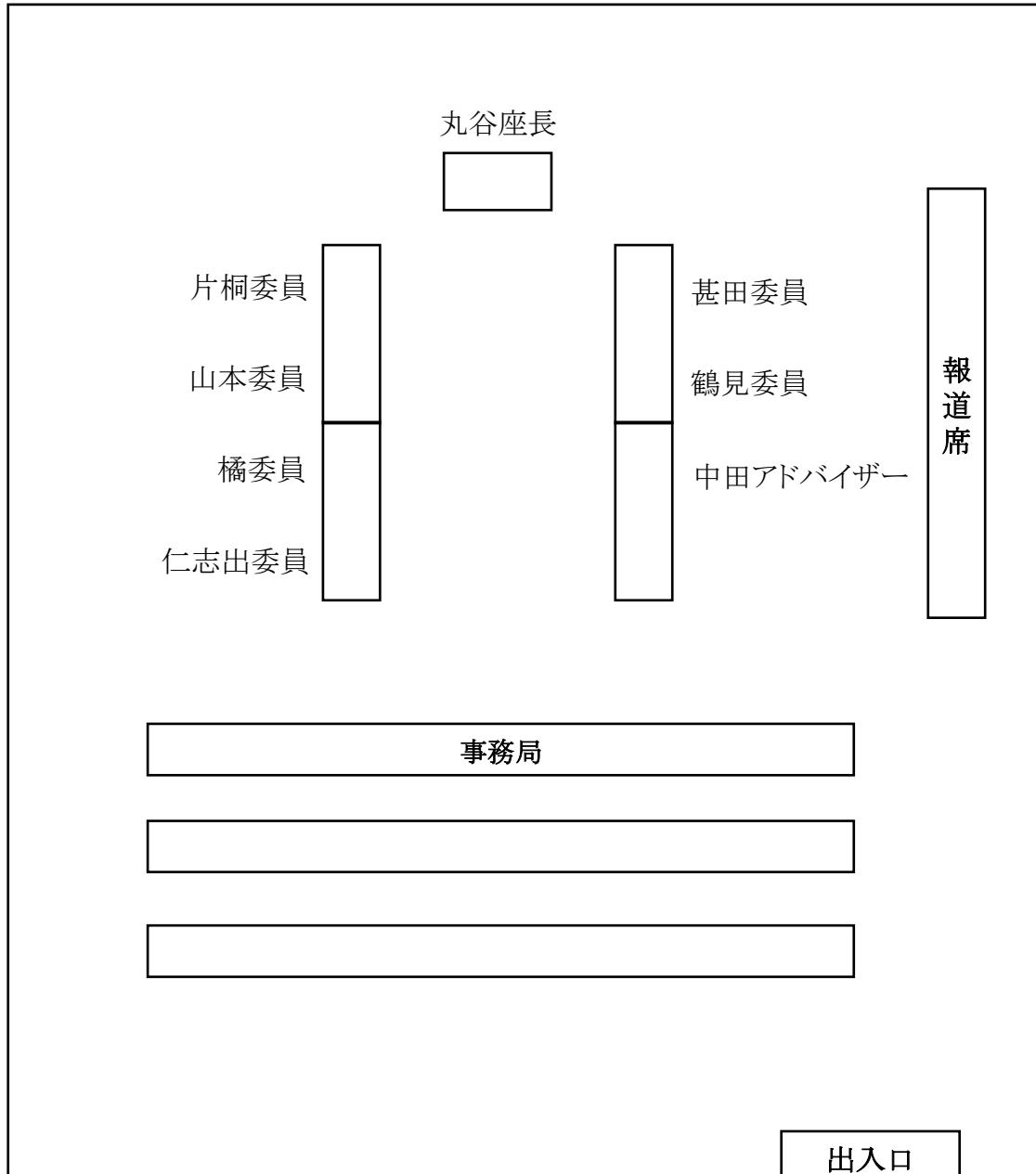
氏名	団体・役職	
丸 谷 耕 太	金沢大学融合研究域融合科学系 准教授	
片 桐 由希子	金沢工業大学工学部 准教授	
山 本 修	公益社団法人大学コンソーシアム石川 事務局長	
橋 泰 至	協働をすすめる市民会議 委員	
仁志出 憲 聖	株式会社ガクトラボ 代表取締役	
甚 田 和 幸	新堅町地区町会連合会 会長	
鶴 見 あゆみ	新堅町公民館 副館長	
稻 垣 早 紀	未来へつなぐ金沢行動会議 委員	欠席

アドバイザー

中 田 明 秀	市民活動サポートセンター チーフコーディネーター
---------	--------------------------

事務局 都市政策局企画調整課

座席図



第3回旧新豊町小学校跡地 整備基本構想検討懇話会

令和7年11月27日
金沢市



1. これまでの主な意見
 2. 整備基本構想（案）の概要
 3. 第3回会議における意見交換の論点

1. これまでの主な意見

2

施設の基本的な考え方、コンセプト、役割について

- ・コンセプトや役割では、地域とのつながりの視点をより明確に表現したほうがよい。
- ・金沢学生のまち市民交流館など、既存の施設との役割の違いを明確にすべき。
- ・活動や場所にコンセプトがあれば、どういう人がどういう目的で集まるのかイメージしやすい。

必要な機能について

- ・地元の商店街や企業と連携したチャレンジショップなどの仕事の体験ができれば、学生が訪れるメリットになり、卒業後の地元定着にもつながるのではないか。
- ・高等教育機関だけでなく、専門学校も含めて検討してほしい。
- ・学生は入れ替わるので、サークルや部活動など組織として連携することで持続性が生まれる。
- ・学生がいるだけで何かが生まれるわけではなく、プロジェクトを開拓させる必要があり、そのためにはコーディネートやサポートができる人材の配置や体制が必要。
- ・コーディネーターが重要であり、民間活力を生かすことも視野に、人材を確保するための検討が必要。
- ・市民活動サポートセンターや金沢ボランティア大学校など、既存の機能や団体を生かすことも必要。

1. これまでの主な意見

3

ハード整備について

- 地域行事ができ、他地域の方や学生等も交わり共有できるオープンなスペースが必要。
- 大学、学生、子ども、社会人など生活スタイルが異なる多様な人が使うならば、時間帯ごとに色々な使い方ができるような空間デザインが必要。
- これまで地域行事の場や避難所として使われてきた機能を踏まえて整理する必要がある。

その他

- 具体の活動については、実験的に小さな取組から始めていくようなことができればよいのではないか。
- 施設内に公民館を入れるなど、地域の住民も気軽に使える施設になってほしい。
- 地域住民と地域外の人の利用が偏りすぎないようにする必要がある。
- 近年では学生寮が重要な学びの場となったり、寮長がコーディネート機能を担っている事例などもあり、学生寮を設置するという可能性もあるのではないか。

2. 整備基本構想（案）の概要

4

基本構想の構成（目次）

第1章 現状と課題等の整理

1. 旧新豊町小学校の概要
2. 周辺環境
3. 立地特性
4. 地元からの要望及び意見交換会での意見
5. 現状と課題の整理及び検討の視点
6. 大学ヒアリング

第2章 整備の方向性

1. 基本的な考え方
(コンセプト及び役割)
2. 必要な機能
3. 全体像
4. 拠点施設で生まれるつながりのイメージ

第3章 今後の具体的な検討における課題・留意点

1. 施設整備について
2. 運営について

1. 旧新豊町小学校の概要



土地	地番	新豊町 3 丁目 25 番 1 ほか 15 筆
	建物敷地	: 4,516 m ²
	面積	運動場用地 : 4,663 m ²
	合計	: 9,179 m ²
旧校舎	接道状況	①本多通り側 ②新豊町商店街側 ③新豊町会館側 計 3 箇所
	構造	鉄筋コンクリート造 4 階建
	延床面積	4,526 m ²
	建築年	1960~63 年(昭和 35~38 年)
体育館	耐震性	未耐震 (旧耐震、改修無)
	構造	鉄筋コンクリート造 2 階建
	延床面積	863 m ²
	面積	(1 階ピロティ部分は床面積なし)
耐震性	建築年	1979 年(昭和 54 年)
	補強済	(旧耐震、H21 一部改修)

2. 周辺環境

(1) 居住環境

- ・こまちなみ保存区域をはじめ、木造住宅が多い。
- ・遊具付きの公園や緑地がない。



水溜町（こまちなみ保存区域）

(2) 商業環境

- ・新豊町商店街、豊町商店街をはじめ、個性豊かな商店街が賑わう。
- ・片町、香林坊の繁華街や大型商業施設にも近接している。



新豊町商店街

(3) 自然環境

- ・犀川が人々の憩いの場となっており、
近年では官民連携の河川敷の利活用促進も行われている。



犀川（桜並木）

(4) 交通環境

- ・周辺には北鉄バス、金沢ふらっとバス等が運行している。
- ・東側の本多通りは歩道幅員が狭い。



本多通り（広坂・新桜坂線）歩道

(5) 歴史文化遺産・文化施設

- ・本多町歴史文化ゾーンや寺町寺院群に近接している。
- ・金沢21世紀美術館など文化施設も多く立地している。



松風閣庭園

3. 立地特性



市の中心部に位置

- ・中心市街地内に位置
- ・集約都市形成計画上の都市機能誘導区域
- ・公共施設が集積

歴史文化遺産や文化施設が集積

- ・金沢21世紀美術館や本多町歴史文化ゾーン、寺町寺院群などに近接

商業環境と居住環境が調和

- ・片町、香林坊など商業の中心地に近接
- ・魅力的な商店街の背後には住宅地が広がる
- ・自然豊かな犀川に近接

地域だけでなく多様な人々が交流し、まち全体の活性化に資する場所

4. 地元からの要望及び意見交換会での意見

分類	主な意見・要望
学術	<ul style="list-style-type: none"> ・大学等の教育実践施設を誘致してほしい
交流	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の交流の場（運動会や盆踊りの場）としての広場を確保してほしい
	<ul style="list-style-type: none"> ・新豊町には公園がないため、子どもが遊べる場所がほしい
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで多様な人が交流できる空間があるとよい
	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の人も気軽に使える場所になってほしい
	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館を高齢者等が避難しやすいように改修又は新たな施設に防災倉庫と会議室を有した地区防災施設を設置してほしい
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水想定区域のため、拠点避難所を現体育館から移してほしい
	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅密集地のため、体育館を解体しても避難所となる空間は確保してほしい
	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する公民館との一体的活用を図ってほしい
回遊	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行環境を整備し、金沢城から野町までの回遊性を高め、周辺の商店街や観光文化施設との利便性を向上する拠点としてほしい
	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行空間の改善やエレベーターの設置など高齢者も安心して使えるようにしてほしい

5. 現状と課題の整理及び検討の視点

(1) 現状と課題

施設 (敷地・建物)	周辺環境 立地特性	地元要望等
<ul style="list-style-type: none">まちなかの広大な土地校舎は老朽化しており、未耐震新豊会館や新豊町商店街に隣接地域の拠点避難所だが、 洪水浸水想定区域（0.5～3.0m）	<ul style="list-style-type: none">地域だけでなく、多様な人々が交流し、 まち全体の活性化に資する場所居住エリアには木造住宅が密集遊具付きの公園や緑地がない商店街や犀川で賑わいが創出東側の本多通りは歩道幅員が狭い	<ul style="list-style-type: none">大学等の教育実践施設の誘致住民交流の場の確保防災機能の強化子どもが遊べる空間の確保多様な世代の交流促進

(2) 検討の視点

- ◆視点1 多様な主体の活動 … 大学サテライト機能、市民活動の拠点となる機能 など
- ◆視点2 幅広い世代の交流 … 開かれた交流空間、周辺との回遊性 など
- ◆視点3 地域の安全安心 … 拠点避難所のあり方、歩行環境 など

6. 大学ヒアリング

分類	主な意見
ニーズ	<ul style="list-style-type: none">近年の傾向として地域課題解決型のプログラムや学部が増えており、大学が地域とつながりを持つ拠点があるとよい課題を抱える地域の方から、どの大学に相談してよいかわからないという声も聞くため、地域と大学をつなぐコーディネーターがいるとよい
想定する活動	<ul style="list-style-type: none">まちなかでのフィールドワーク、地域と連携した社会実験社会人向けリカレント（学び直し）教育を含めた公開講座夏休み等の子ども向け教室運動系、芸術系の学生が主体となった子ども～中高生向けの教室小・中規模（100人程度以下）の学会や研究会
その他	<ul style="list-style-type: none">学生のまち市民交流館が学生の主体的な活動の拠点であるのに対し、旧新豊町小学校跡地はよりアカデミックな学びの拠点となってほしい

1. 基本的な考え方（コンセプト及び役割）

«コンセプト»

多様な人々と地域がつながり、学びと共に創出する地域力創造拠点

«役割»

- **大学等と地域との連携による学びの振興・発展**

大学等が地域社会とつながりをもち、あらゆる人に学びが提供されるとともに、
地域課題の解決に向けた連携した取り組みにより地域社会の振興・発展に寄与します。

- **学生を中心に、幅広い世代の交流の促進**

学生を中心として、子どもや中高生、大人まで幅広い世代がつながりをもつとともに、
多様な人々が集い、地域やまち全体に賑わいを波及させます。

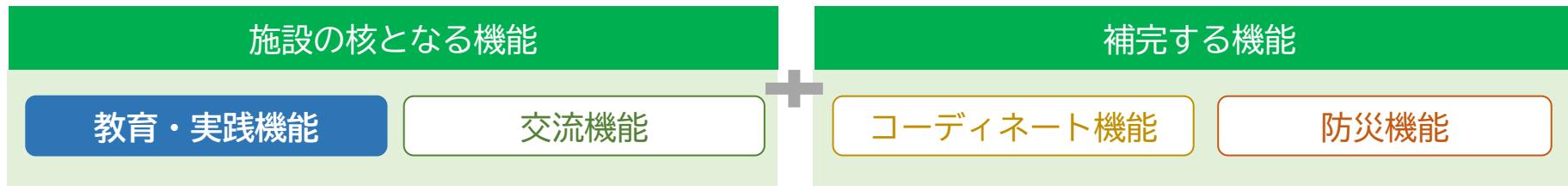
- **多様な主体の活動と、相互の連携の促進**

大学等だけでなく、市民団体等多様な主体の活動を支援、促進するとともに、
相互のつながりや地域とのつながりを深め、相乗効果を創出します。

- **地域の安全安心の確保**

大規模災害時にも避難可能な拠点避難所としての機能を確保します。

2. 必要な機能



教育・実践機能

- ・大学等による学びの提供や、地域課題解決に向けた取り組みを行います。

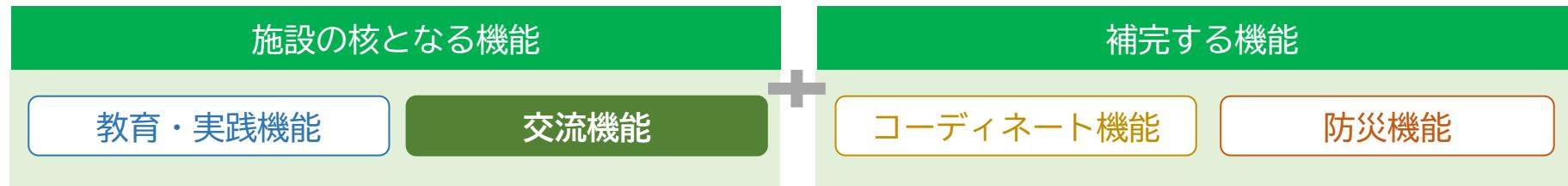
ソフト（活動）例

- ・まちなかフィールドワーク
- ・地域と連携した社会実験
- ・地元商店街や企業と連携したチャレンジショップなどの仕事の体験
- ・地域課題解決に向けた取り組み
- ・市民向け公開講座
- ・学会、研究会

ハード（空間）例

- ・大小の講義室
- ・ミーティングスペース
- ・実験・活動スペース
- ・通信環境

2. 必要な機能



交流機能

- ・学生が中心となり、子どもや中高生が居場所と感じられる場を創出します。
- ・地域だけでなく、多様な人、幅広い世代が交流する場を創出します。

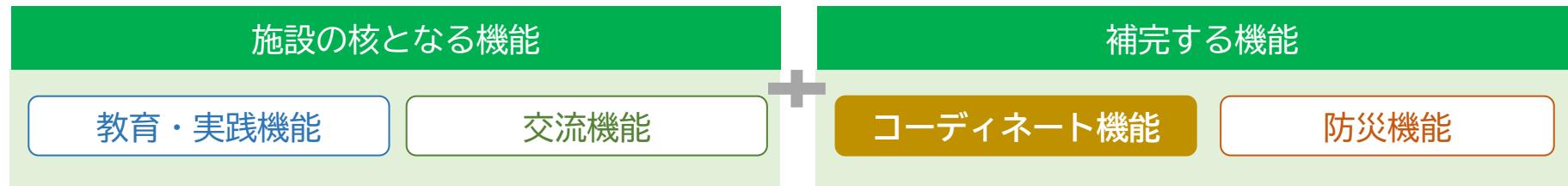
ソフト（活動）例

- ・子どもの自由な遊び
- ・中高生の居場所
- ・学生による子ども向け教室
- ・地域の交流行事

ハード（空間）例

- ・屋内外の交流空間
- ・誰もが居心地よく滞留できる空間

2. 必要な機能



コーディネート機能

- ・多様な団体が取り組む地域課題解決に向けた活動を支援します。
- ・地域、大学等、市民活動団体のニーズとシーズを集約し、マッチングします。

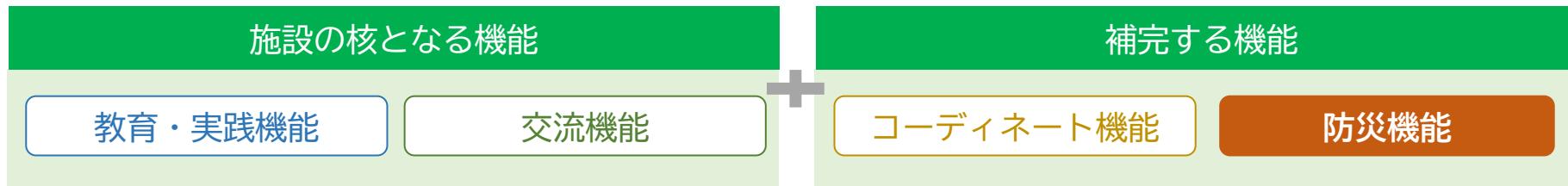
ソフト（活動）例

- ・地域課題解決の支援
- ・地域、大学等、市民活動団体のマッチング

ハード（空間）例

- ・活動支援窓口
- ・マッチング支援窓口

2. 必要な機能



防災機能

- ・浸水想定区域であることを踏まえ、大規模災害時にも避難できる拠点避難所を整備します。

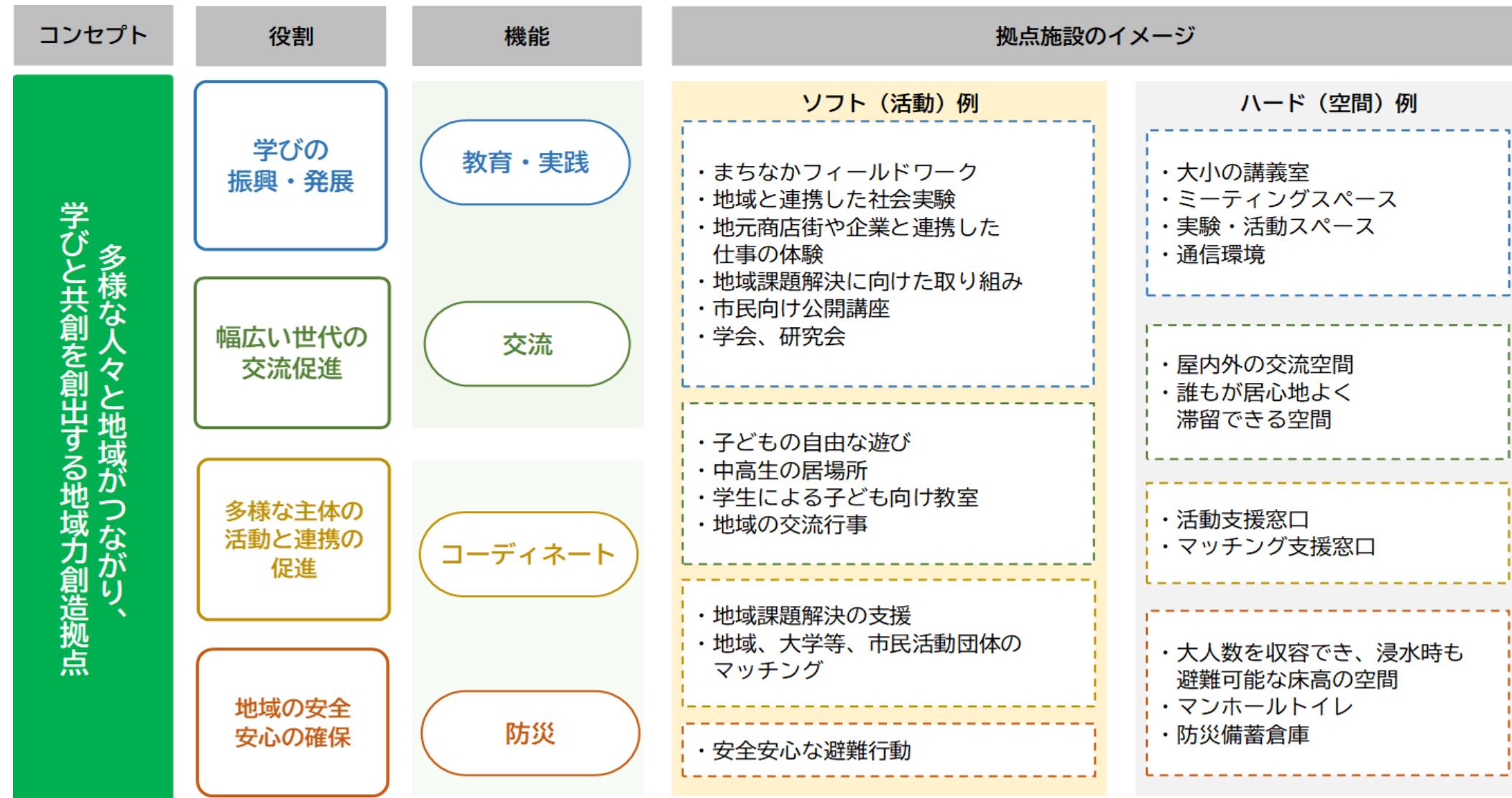
ソフト（活動）例

- ・安全安心な避難行動

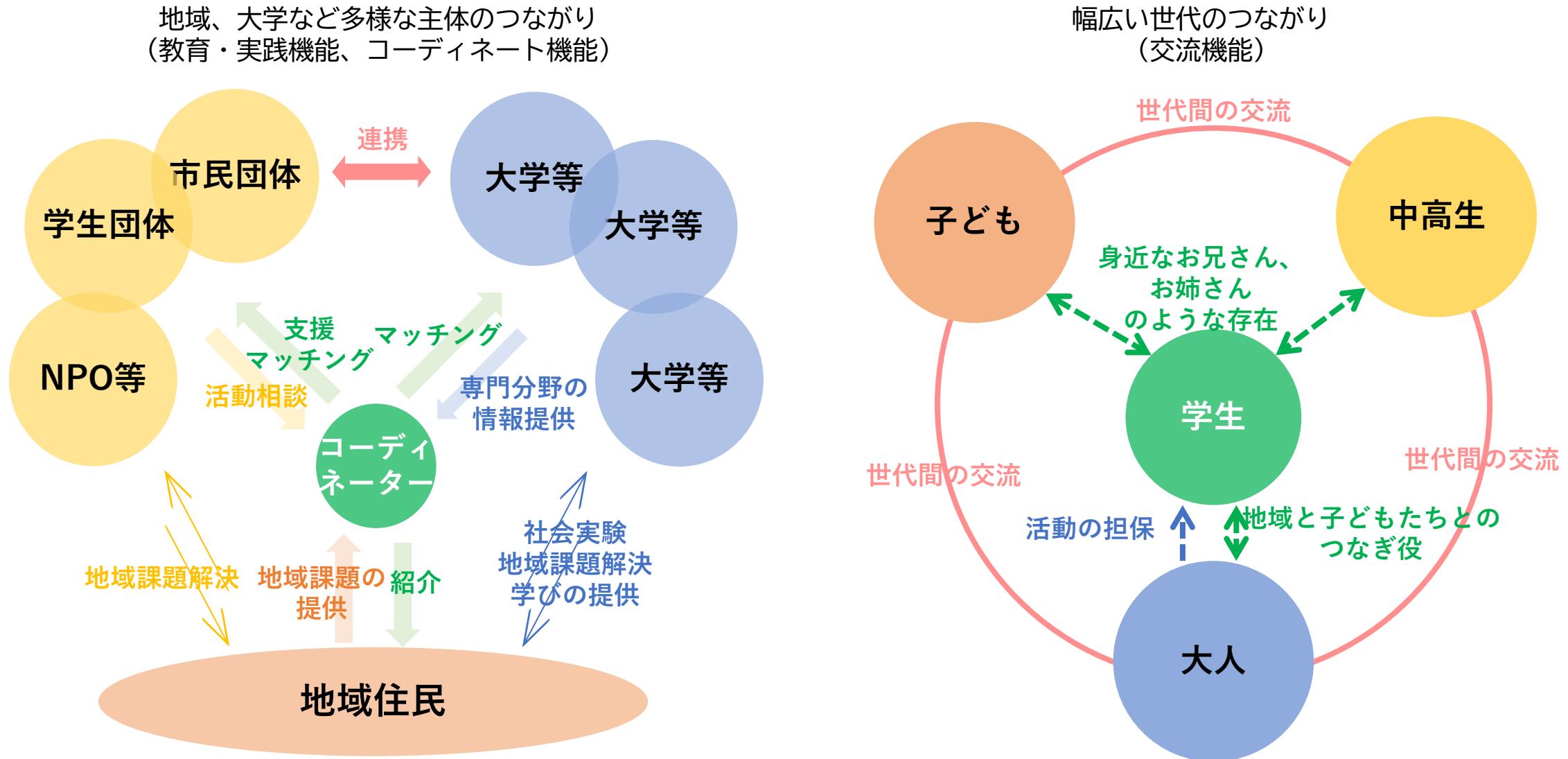
ハード（空間）例

- ・大人数を収容でき、浸水時も避難可能な床高の空間
- ・マンホールトイレ
- ・防災備蓄倉庫

3. 全体像



4. 抱点施設で生まれるつながりのイメージ



(1) 施設整備について

- ・生活スタイルの異なる多様な人々、幅広い世代が利用しやすいよう、時間帯ごとに色々な使い方に対応できる空間設計を検討
- ・地域行事の会場や拠点避難所となる空間は、従前の機能確保の観点も踏まえて検討
- ・防災機能や各機能に必要な面積を踏まえて、体育館の取り扱い及び歩道改善の方針を検討
- ・周辺との回遊性にも寄与する敷地内の配置計画を作成
- ・魅力的かつ効率的な施設建設や民間活力等の導入可能性を検討
- ・施設規模や事業手法を踏まえた整備スケジュールを作成

(2) 運営について

- ・ 学生が運営にも携わる仕組みの構築など、学生が継続的に訪れる仕掛けを検討
- ・ 機能ごとのコンセプトやターゲットを明確にし、地域内外の人がバランスよく多くの人に利用されるよう、施設で行う活動内容を検討
- ・ 専門学校や県外も含めて、活動の主体となる大学等の対象範囲を検討
- ・ 活動の担い手として、市民活動サポートセンターなど既存の機能や団体の活用も検討
- ・ 多様な主体との連携方策については、今年度策定予定の次期金沢市協働推進計画の方針も踏まえて検討
- ・ 効率的で持続可能な運営や民間活力等の導入可能性を検討

基本構想（案）の内容

- ・施設のコンセプト、役割、機能等において付加すべき事項がないか
- ・今後の課題・留意点において付加すべき事項がないか